

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 6 ・ 7 年度 白川緑川水系危機管理検討業務
業 務 概 要	白川緑川危機管理検討 1 式、水防災関連の協議会、イベント等の企画検討および運営補助 1 式、白川緑川河川水位予測システム、高潮予測システムの検証 1 式、白川緑川重要水防箇所・危険箇所検討 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 福井 貴規
契 約 年 月 日	令和 6 年 1 2 月 9 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	2 9 , 9 9 7 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	2 9 , 9 9 7 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	白川緑川水系
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 1 2 月 1 0 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 1 1 月 2 8 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6・7年度 白川緑川水系危機管理検討業務
2. 履行場所 白川緑川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、白川緑川水系において水防災意識社会再構築に向けた危機管理検討、水防災関連の協議会やイベント等の企画検討および運営補助を行うとともに、洪水予測システム・高潮予測システムの精度向上に向けた検討や水防上注意を要する重要水防箇所・危険箇所の検討を行うなど、洪水における防災危機管理に資することを目的とした業務である。

2) 業務の内容

- ・ 白川緑川危機管理検討・・・・・・・・・・・・・・一式
- ・ 水防災関連の協議会、イベント等の企画検討および運営補助・・・・一式
- ・ 白川緑川河川水位予測システム、高潮予測システムの検証・・・・一式
- ・ 白川緑川重要水防箇所・危険箇所検討・・・・・・・・・・・・一式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び特定テーマの「白川緑川流域における、流域治水の推進に向けた防災教育、企業BCP策定支援の着眼点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 流域治水課長